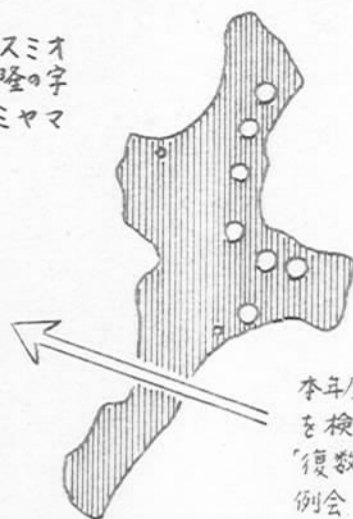


三重百万石現勢図'80

城主 スミオ
城代家老 隆の字
大目付 ミヤマ



四日市の箱 政美サン
鈴鹿の箱 松尾サン
津の箱 和ちゃん
松阪の箱 平本サン
坂東の箱 仁サン
伊勢の箱 清水サン
五ヶ所の箱 アイシケン

但し原則として事前に、
或は事後に事務局長に
必ず連絡して下さい。

本年度は「箱単位の活動」ということ
を検討する年になりそうです。
「複数の箱による活動」も大いに結構。
例会 撮影会、他にいろいろとです。



高橋一也さん
市長賞に輝く

このすばらしき

われわれの仲間、聴力障害
のハンデを背負いながら、
近頃めきめき腕を上げて
いた高橋さん。とうとう津の
勤労者写真作品展で市長
賞を獲得した。

「子どもとアイスクリム」
(3枚組)
来年は視覚展にも挑戦の由。

百万石のいやらしき

純情伊賀者

池であれば、豆つぶほどの石を投げても小さい輪が広がっていく。と三重支部
について以前は考えていた。

投げた石がむなくころがるだけのコンクリートの三和土(註:たたき)らしいことを覚
悟の上で、こんなにまね口を投擲するのは、ほくりに三重支部会員としての良心がある
ためではないかと考えている。もちろん、ただのへそまがくとして片づけられても仕方がないとい
う覚悟もできている。

では、本論に入ることにする。余り枚数をふやしたくないので、古足らずになると思う。
① 東さんの作品のもつ重厚さと、どうしても結びつかないほど、「百万石」は鏡名村と
思う。おもしろいなと感じたのは、初めのころだけだった。

② 編集の「視点」がどこにあるのか、ひよとしてないのかと思う。例えば「最新の6号
について言うならば、何のために「写真リアリズム45号 本部で遂に売り切りの」
についてあれほど詳しく電話のやりとりまで紹介するのだろうか。何のために「視点
展応募者は32名か33名か」について「名前までつけて大きいスペースを
使う必要があるのだろうか。なぜ「アッと驚くスナップショット……3・15 鈴鹿例会」
について、出席しなかった者にも、せめて半分でも知らせやろうという配属で、もう
少し具体的に書いてくれないだろうか。「まぼろしのスポット」なくもがなり記事だと思
「宮尾夫人」が帰っていないのか、夜の10時に馳せつけたとか、なぜそんなに詳しく
書く必要があるのだろうか。坂本九の鏡名に似ていると感じる。

③ けしひねく水たき方を許してもらうことにすると、「百万石」は三重支部内の「上流貴族の
たまり場にみえてきて仕方がない。「元祖三皇版」を右手で書いているとすれば、「百万石」
は左手へペンを持ちかえるつもりでやってほしい。あまりむらむら書けなくても。

余談になるが、小学生でも中学生でも、よくできる子やかわいい子や役に立つ子に
接近する教師を「いい子」と批判するが、できない子、ぐれかけた子、のけ者にされがちな子
に接近しがちな教師を、決して「不公平」とはいわないものだ。

昔、当地に「不公平」の烙印を押された、やり手の校長がいた。特定の女教師
たちだけを「ちゃん」つけて呼び、その他を「先生」をつけて呼んだそうだ。何でもな
ような小さいところに本質が出るということだ、とほくは理解している。

最後に、思いきた批判をするということは、相手を信じていないと本末ないもの
だということを申し上げておきたい。

書いてみて、やっぱり、よかった。

55.3.19 (仏滅と知らず)に)



これ百万石編集長のヨーサン



これもヨーサン

ここに美がある。

ゴムワリのようにふくれているといつて

美しいものは美しいよ、同感》》

手話術を見るような 小池汪先生の 安全光のなか
レンズの下 印画紙の上での マキコミ、フキトパン
アガレグモ、ほらい腰 ケンカ の妙技に
21名の生徒 啞然。



大牟田カッパより '79-12

春季大さつえい会

詳細は次回事務局ニュースで 発表されますが「百万石」
がキャッチした情報

目的地 水曾川下流 桜咲く河原

日時 4月13日 日曜日

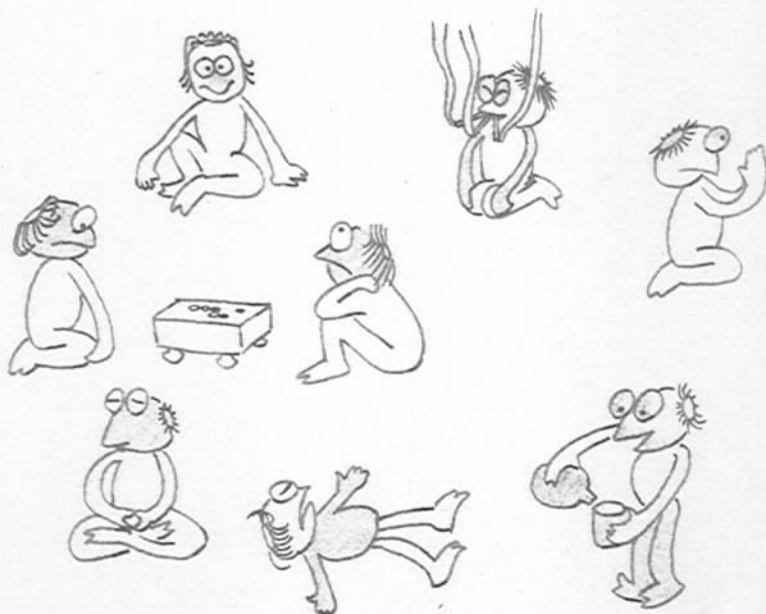
けいこう品 手弁当 おかずたくさん

1升瓶 ボトル

あればカメラを できればフィルムも



みえしぶ ひがんの日



(後記) 新兵器の ロットリングペン を購入しました。細くて小さい字が書けるのです。しかし
書きにくいこと。早くマスターして岐阜の 斎藤さんのように 美しく速く書けるようになりたい。

鮮亮さんの鋭きは 相不変。北村さんの手厳しい批判、編集部として大いに耳を傾けました。皆さん
大いに批判を寄せ下さい。そして もし頂けるならば たまには 両者の便は... 今や無理ではな...